

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分
感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2024年										2025年									
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月 ～6日	7月 ～13日	7月 ～20日	7月 ～27日
カンピロバクター	38	25	57	50	39	41	50	50	37	36	18	14	38	22	23	36	13	9	6 (9)	6
病原性大腸菌	105	92	79	76	83	70	86	49	46	33	23	107	90	91	71	93	22	21	15 (21)	11
腸管出血性大腸菌	1	0	1	2	1	6	2	0	1	1	0	0	1	0	2	3	2	0	0	1
サルモネラ	2	7	5	8	12	29	13	12	7	6	1	3	8	3	6	11	3	3	1	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	16	4	12	21	11	17	24	5	6	4	14	15	6	8	9	16	2	2	0 (2)	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	6	3	10	8	6	21	12	8	13	9	9	14	13	9	11	0	2	1 (2)	1
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	3	1	5	1	2	0	1	0	3	2	1	1	1	0	0	2	0
ロタウイルス	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	8	9	10	1	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	3	4	4	2	1	0	1	0	0
ノロウイルス	10	3	4	0	1	1	1	0	0	0	0	11	37	10	6	2	0	1	0	1

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)
感染症週報

令和7年第30週(7月21日～7月27日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	4	結核	4			1	1	2		
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症	3					1		2
四類	1	日本紅斑熱	1			1				
五類	144	ウイルス性肝炎	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	1							1
		梅毒	5					4		1
		百日咳	138	21	43	13	6	33	10	12

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和 7年30週(7月21日～7月27日)

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり2.11人の報告があり、増加が続いています。全国でも増加が続いており、注意が必要です。手洗いの励行、咳エチケット、換気など、基本的な感染予防対策を心がけましょう。

2 伝染性紅斑

定点当たり3.05人と、多い状況が続いています。妊婦が感染すると胎児水腫や流産を引き起こす可能性があるため、特に注意が必要です。

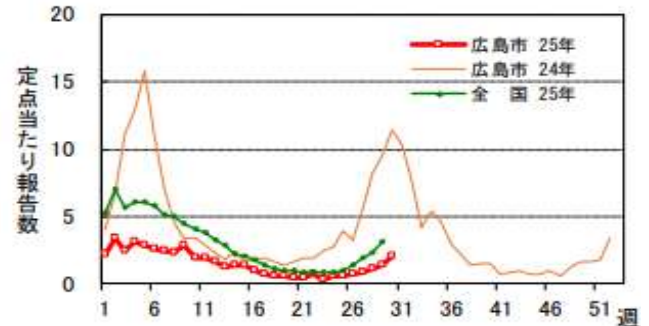
3 百日咳

33件の報告があり、多い状況が続いています。乳児は重症化リスクが高く、特に注意が必要です。予防にはワクチン接種が有効です。定期接種対象者は早めに接種を受けましょう。

4 腸管出血性大腸菌感染症

1件の報告があり、今年の累計は20件(昨年同時期13件)となりました。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行状況



■定点把握感染症報告状況(通報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	急増減	前週と比較しておおむね
A R I	急性呼吸器感染症(ARI)	1754	50.11		→	小児科	突発性発しん	10	0.45	0.31		↑	1:2以上の増減
	インフルエンザ	1	0.03	0.28			ヘルパンギーナ	38	1.73	1.06		↓	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	新型コロナ(COVID-19)	74	2.11		→		流行性耳下腺炎	3	0.14	0.03		↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
小児科	RSウイルス感染症	6	0.27	3.07		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		↔	ほとんど増減なし
	咽頭結膜熱	7	0.32	0.27			流行性角結膜炎	7	0.88	0.23		↔	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	51	2.32	1.07	↔	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		↔	
	感染性胃腸炎	118	5.36	2.61	→		無菌性髄膜炎	-	-	-		↔	
	水痘	5	0.23	0.11			マイコプラズマ肺炎	13	2.17	0.51		↔	
	手足口病	22	1.00	6.33	→		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		↔	
	伝染性紅斑	67	3.05	-	→		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03		↔	

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	70	60歳代、70歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	20	10歳未満・O91・市外
5	ウイルス性肝炎	1	3	20歳代
5	梅毒	4	78	30歳代・1人、40歳代・1人、50歳代・2人
5	百日咳	33	662	10歳未満・15人、10歳代・14人、20歳代・2人、30歳代・1人、50歳代・1人